

| | |
|--|---|
| 課題名 | 神経救急患者の治療と予後に関する研究 |
| 承認番号 | 2025-4 番 |
| 研究機関名 | 横浜市立みなと赤十字病院 |
| 研究責任者 | 所属 脳神経外科 氏名 三宅 茂太 |
| 研究期間 | (西暦) 2025年 4月 ~ (西暦) 2027年 3月 |
| 研究の意義・目的 | この研究は、救急車で病院に運ばれた神経の病気(脳卒中、てんかん、頭のけがなど)の患者さんについて、どのような治療が行われ、どのような経過をたどったのかを調べるものです。 その結果、よりよい治療や救急対応の方法を考えることができ、将来的に多くの患者さんの命や生活の質を守ることにつながります。 |
| 研究の方法 (対象期間含む) | この研究では、2015年4月から2025年3月までの10年間に、当院(横浜市立みなと赤十字病院)の救急外来を受診された18歳以上の神経系の病気の患者さん(例:脳卒中、てんかん、頭部外傷、意識障害など)を対象にしています。 病気の種類、症状の出方、来院時の状態(意識の有無、血圧など)、救急隊による搬送状況、治療にかかった時間、行った処置(たとえば血栓を溶かす治療や手術など)、入院期間、退院後の回復状態など、すでに記録されている診療情報を利用して分析を行います。 この研究では、新たに検査や治療をお願いすることは一切ありません。すべて過去に記録された情報だけを使います。 また、患者さんのお名前や住所など、個人が特定される情報はすべて削除し、匿名化されたうえで統計的な処理を行いますので、個人情報が入りに漏れることはありません。 このようにして、救急医療における治療の効果や、どのような患者さんが重症化しやすいかなどを明らかにし、今後のより良い医療の提供に役立てていきます。 |
| 試料・情報の利用目的及び 利用方法 | 診療記録や検査結果などの情報を使って、病気の種類や症状、治療の内容、回復の様子を分析します。患者さん個人が特定されないよう、名前などの個人情報はすべて削除・匿名化して利用します。外部にデータを提供することはありません。 |
| 利用又は提供する 試料・情報の項目 | 診療録データおよび画像検査、救急隊からの情報を基に、患者の年齢、性別、基礎疾患、内服薬などの背景や、救急受診時の状態、診断、治療、入院経過および転記などの情報を収集します。 |
| 試料・情報を 利用する者の範囲 | 横浜市立みなと赤十字病院 脳神経外科 三宅 茂太 |
| 試料・情報の管理における 責任者の氏名又名称 (当院及び提供先) | 横浜市立みなと赤十字病院 脳神経外科 三宅 茂太 |
| 問い合わせ先 | 当研究に自分の情報を使用してほしくない場合等のお問い合わせ 〒231-8682 神奈川県横浜市中区新山下 3-12-1 横浜市立みなと赤十字病院 所属 脳神経外科 氏名 三宅茂太 TEL:045-628-6100 (代表) 内線 3808 (事務局) / FAX:045-628-6101 |